

問二 解答用紙

(赤文字や青文字をヒント)

著者の意見 (手段と目的をみつける) ※「手段」を主張。「目的」を理由と考えても OK。

How

じゃどうする? (どうやってあるべき姿に近づける?)

Why

なぜ大切?

なぜできない?

Where

右の二つのどこが一番の違い (手段)?
※「あるべき姿」と「現状」の違いをもたらす
一番の違いはどこにあるか考える。

あるべき姿 (目的)

ギャップ

変えたい現状

●作文の書き方

著者の考え (抽象化) → 著者の考えを自分の体験に転用 (具体化)

→ 具体化した体験を他の事例にも使える学びに (抽象化) → その学びを中学入学後どう活かすかに転用 (抽象化)

第一段落 (主張+理由) 長い文章の具体的な部分を削り取り、抽象的な部分のみ残す。

著者の考え (抽象化)

著者は A (目的) のために、B (手段) が大切だと述べている。

私も著者の意見に賛成だ。なぜなら C (著者の意見を違う言葉で繰り返し・または深掘り) だからだ。

第二段落 (自分の体験を「自分ダメ出し成長ストーリー法」で書く)

※著者の考え→自分の具体的な事例に置き換える

体験 (変化前の自分=ダメだった自分) 著者が語っているダメな現状を自分の具体例で書く どこに問題?

自分の体験に転用 (具体化)

どこに問題があった? 原因は?

どうやって解決した (する)? その結果どんな学びを得た?

学び (抽象化)

第三段落 (まとめと、今後の抱負・中学入学後に学びをどう応用するか)

その学びを中学入学後どう活かすかに転用 (抽象化)
